

## 日本刀の重みを感じる

現代の刀剣は、殺傷力のある武器としてではなく、芸術品として生産されている。戦場に持ち込まれることはないが、侍の時代と同じ製法で作られ、何世紀も前の刀剣と同じ物理的特性を持っている。

この展示ケースの中にある刀を、博物館のスタッフの指導のもと、実際に持ってみることができる。刀を持つことを希望される方は、お近くの電話の「11」をダイヤルしてください。刀身は磨かれて刃紋（はもん）が見えるが、鋭利ではない。

スタッフが手袋を用意し、刀の持ち方を指導する。刀は振り回さず、刀身に触れないように注意する。汗や唾液などの水分が刀身につくと錆びることがある。

12歳から16歳までのご来場者様は、大人の方と一緒に剣を持つ必要がある。12歳未満のご来場者様はこの剣を持つことはできないが、博物館のスタッフが子供用の軽量レプリカを用意してくれる。